

熱中症事故の防止に向けて

呉市立吉浦中学校

本校では、夏季における児童（生徒）の健康確保に向けて、次のとおり暑さ指数（WBGT）を活用して、熱中症事故の防止に取り組めます。

(1) 暑さ指数（WBGT）が 31°C 以上の時間帯は、体育の授業、部活動、昼休憩等の運動を屋外・屋内を問わず中止にします。

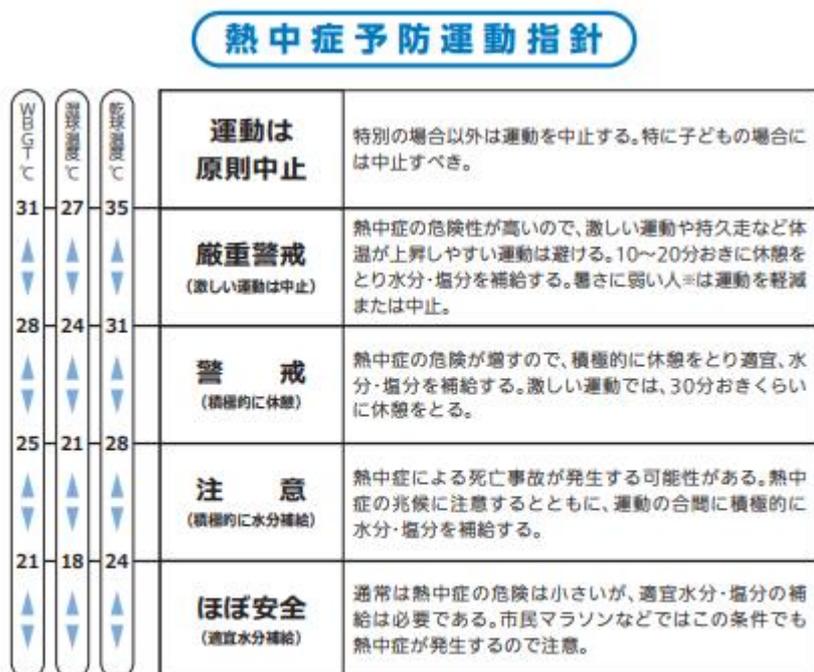
(2) 暑さ指数（WBGT）については、環境省「熱中症予防情報サイト」にある（呉・呉市蒲刈のどちらか学校の最寄りの地点）の指数を基に判断します。

なお、広域的な大会等について、主催者の判断において開催される場合があります。開催される場合は、個々の児童（生徒）の状況に応じた参加の可否、こまめな水分・塩分補給や休憩の取得、観戦者の軽装や着帽等、児童（生徒）の健康管理を徹底します。

【環境省熱中症予防情報サイト】

<https://www.wbgt.env.go.jp/>

【熱中症予防のための運動指針】



1) 環境条件の評価にはWBGT(暑さ指数とも呼ばれる)の使用が望ましい。
 2) 乾球温度(気温)を用いる場合には、湿度に注意する。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。
 3) 熱中症の発症のリスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係する。運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮する。
 ※暑さに弱い人、体力の弱い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。

〈「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」 公益財団法人日本スポーツ協会

【暑さ指数に応じた注意事項等】

日常生活における熱中症予防指針

WBGTによる温度基準域	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 31°C以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 28°C以上 31°C未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 25°C以上 28°C未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休憩を取り入れる。
注意 25°C未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

〈注1：日本気象学会「日常生活における熱中症予防 Ver.4」(2022)より〉